

自律貢献

向中生の安心は、「一緒に笑顔で懸命にできる」ことから始まる

福山市立向丘中学校

校長 坂田 正治

学校通信No.9

★12月の向中キラリン

第11回新県美展(第75回広島県美術展)

《入選》

21R 堂畑 ひよりさん

22R 藤岡 里央菜さん

23R 小林 巧汰くん

第73回“社会を明るくする運動”福山地区
「作文コンテスト」

23R 濱本 結和さん

全日本選手権

FC ツネイシ(31R 大倉 陸生くん)が、
12月16日(土)開幕の高円宮杯
全日本U-15選手権大会に出場



2023年(令和5年)12月2日 中国新聞

第42回全国中学生人権作文コンテスト
福山地区大会

13R 宇田 有希さん

『向中キラリンとは?』

今年度2学期から、「生徒の自己有用感を育む。」
「向丘中学校へ所属する喜びを醸成する」「一人一人
の居場所づくりを推進する。」を目的とし、毎週月曜
日、13:05から始まるお昼の番組「今週のキラ
リン」を放送中。番組では、先週の「生徒」「教職員」
の表彰や善行を報告するものです。現在、多くの生
徒が、「自分のことが放送されるか?」と楽しみにし
ているようです。番組で、学級や学年の誰かのこ
とが放送されると喜びの歓喜や拍手が南校舎から聞こ
えてきます。「次は、おっ、自分か?あの何か?」
と思ったけど出なかったという場面もたくさんある
ようで、休憩時間に私と出会った際には、「校長先生、
僕はみんなのために〇〇しました。私も●●しまし
た。放送してー」とせがまれる場面が多くあります。
これも、「これからの社会で求められる自己表現か
な?」と思いながら...

現在、校内では、人のためにもなり、自分のため
にもなり、「たくさんのありがとう」が以前より増え
ています。これまでは知らない間に、気づいた誰か
がやってくれていたこともたくさんあったと思いま
す。この「ありがとう」が、「向中キラリン」によって
「見える化」できているように思います。そして、
お礼を伝えることができるようになりました。

学校だよりの題にもある「感謝する心」「感動する
心」は、自分を律する(自律)ことで初めて自立で
き、そこから感謝の心や感動の心、そして、貢献す
る心が生まれてくると思います。今、向中の皆さん
は「校内貢献」の一步を踏み出しています。その姿
を見ていると頼もしくもあり、楽しくもあり、安心
感があり、生徒の皆さんが「向中キラリン」を前進さ
せてくれているということに感謝しています。

いくら良いものが近くにあっても活用しなければ
何も変わりません。放送を楽しみにしてくれている
生徒の皆さん、先生方ありがとうございます。

向中の先生も日々勉強中

学校には、毎日授業があります。一人一台端末が導入され、時代とともに「学習方法」「教え方」も変わってきています。これからもどんどん学び方が進化発展していくでしょう。しかし、進化発展しても「変わらない大切なこと」があります。向中の先生方は、教師経験年数の多少があります。何年経験していても時代とともに勉強していく必要があります。これがかっこよく表現すると「教師道」ですね。向中の先生方は、お互いの授業を見合ったり、勉強会を開きお互いに意見を言ったりして、生徒が毎日の授業で、「今日は〇〇が分かった」というものを持って下校し、そして、翌日の朝は、「今日は〇〇があるから楽しみだ」と笑顔で登校できる学校を目指しています。また、向中の先生だけの勉強会ではなく、様々な情報を取り入れるために、他校の先生方とも勉強会を行っています。明日の授業をより良いものにしようと先生同士が、学び合い頑張っています。良い授業を創るためには、あなた方生徒の力が大きいです。先日、二人の男子生徒と話をする機会がありました。その時、一人の生徒から「お互いに支え合いましょう」という言葉ができました。この言葉には、相手を安心させる力があると感じました。授業は、教師と生徒で創れるものだから、「お互いに支え合う」という言葉の温かさを感じました。

『3年生の皆さんへ』

皆さん、12月23日（土）から冬休みが始まります。

さて、皆さんにとってのこの冬休みは「どんな冬休み」にしますか？

誰もが、安心して過ごしたいし、楽しく、すばらしい未来を求めているはずです。

では、自分の未来を創るためには？ 何をどのようにすればいいのでしょうか？

私たちは、自分の夢は語れても、未来がどうなっているのかを知ることはできません。

では、どうすれば.....。

それは、「今の瞬間を大切に」「今すべきことをする」ということだと思えます。

私が出会った生徒に、「高校に行ったらやる。」「高校に行ったらできる。」と言った生徒がいます。

私は、その生徒に、「今、やるべきことをしないのに、なぜ、1か月後にできると言えるのか。」

「今、がまんできずに逃げる状況は、たとえ2日続いても、面倒になって、明日からする。次からすると言いつけてやらなくなる。」「できると言うなら、今やろうとする強い信念が行動に現れる。」

「自分が、がんばったことは、一つ一つの点であり、その点が線（人生）としてつながる。」と伝えました。また、「今やらずして、分からない先のことを言い、今を逃げるあなたは、うまくいかなくなると、周りが悪い、環境が悪い、〇〇が悪いと自分以外の責任にして、言い訳をしながら逃げ続ける。何歳まで逃げる？」と厳しい一言も付け加えました。

私が中学校の時に会った先生から言われた言葉に、「例えば、自分（先生）という今のこの時間も、一秒後は過去だ。今を大切にしろ。自分のためになることを全力で考えて動け。時間がもったいない。」

と言われました。今を大切にすることは、自分の未来につながると思えます。

3年生の皆さん、いよいよ義務教育の終盤となりました。来年度からの進学先に向けて受験が始まります。

今やるべきことを全力で挑戦することは、自分のためになりますし、あなたが頑張ることは仲間のためにもなります。「今は、今しかない。あなたは、自分のために、どれだけ頑張るかな？」

最後に、私が教師になって出会った先輩に、「厳しい冬を頑張りぬいた人ほど、暖かい春を感じることができる。」と教えてくれた方がいました。

3年生の皆さんにもこの言葉を送ります。

置き換えると、厳しい冬（受験期）、暖かい春（進学期）です。あせったり、不安になったりすることが繰り返しやってきます。生徒と先生とで一丸となって3学期を乗り越えよう。